

## バグダッド 日 誌 (6月26日)

〇九十九里を半ばとす。

12旅団長のサマーワ訪問が天候にも恵まれ滞りなく実施できた。バグダッド連絡班では日本からの訪問者の米軍ヘリによる移動調整と、当日のヘリ移動をウオッチしている。多国籍軍司令部の高官対応を担当するSCJS (Secretary Chief of Joint Staff) という部署ともすっかり顔馴染みとなり、こちらから確認するまでもなく、先方からヘリの状況を逐一知らせてくれるまでに人間関係を築き、円滑な調整ができた。

また日本からの訪問者のBIO(経歴表)を要請され、多国籍軍司令部に提出しているのだが、SCJSの方から「メイジャー・ジェネラルは、米国に留学経験があるはずだ。」とBIOの確認・訂正をもとめられる程、今回の訪問に対する多国籍軍側の注目度が高かった。私個人にとっても「防大柔道部の大先輩」である旅団長の訪問であり、また同行していた旅団防衛班長は私が防大指導教官していた時の「教え子」であることもあり、今回の訪問が円滑に実施できたことを安堵し、また人の縁の深さを感じている。

バグダッドでの勤務も160日を超えて業務にもすっかり慣れ、多国籍軍司令部との人間関係も完全にできている。「どこを突くと上手く業務ができるか?」も体得できた。撤収の重要な時期を迎え、「百里を行く者は九十里を半ばとす。」の気持ちで今まで築いてきた「業務のコツ」と「人間関係」を活用して、サマーワが異状なく撤収できるように努力したい。

昨日、サマーワが撤収の多忙な中、業務支援隊長から激励の電話を頂き、バグダッド連絡班5人を気遣って頂いた。バグダッド連絡班は益々士気高揚して、最後の大事な仕事に気力・体力を充実させ取り組んでいる。



## バスラLO日々業務報告(6月26日1900)

区 分	内 容
1 警戒態勢	バスラ空港 [REDACTED] (警戒態勢) : [REDACTED]
2 特記事項	(1) [REDACTED] (2) [REDACTED]
3 本日の業務	(1) 情報要求対応 SSR (ISFの戦力化の状況)、MND(SE)の将来計画、IED及びIDF関連情報、デモ関連情報等 (2) 定例情報収集 : [REDACTED] (3) 定例会議への出席 : 司令部朝・夕会議、J2・J3・J9認識統一会議 (4) 航空輸送等調整等
4 明日の予定	(1) 情報要求対応、定例情報収集 (2) 定例会議出席 (3) 航空輸送等調整等
5 その他(備考)	